

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	受託発掘調査報告書刊行事業			会計	款	項	目	大	小	
政 策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	図書・博物館	01	10	05	11	02	54
施 策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成	主管課長	小栗 信一郎						

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	過去に受託して発掘調査が終了した遺跡の未刊行の報告書	意図	受託した発掘調査の報告書刊行によって、契約関係を清算・完了することができるため。報告書の刊行・公開によって、遺跡を記録保存するため。
事業内容	発掘調査が終了した遺跡の記録写真や図面、出土遺物の整理作業を進め、発見された遺跡の情報を研究し、調査成果をまとめて報告書を執筆・刊行する。			
事業開始から現在までの状況変化	開発行為が活発だった昭和56年以降は、発掘調査件数が急増したため、現場の調査優先となり、整理作業が後回しとなった調査例が多数ある。現在は、民間調査会社が発掘調査を実施する方向にあり、市直営で大規模な民間開発原因の発掘調査を実施する機会は減少したが、民間発掘会社の監理・支援、機構改革によって、過去受託した発掘調査の整理作業・報告書作成が滞り、多数の事業未完了、未精算の発掘調査がある。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	整理作業終了出土遺物	20	10	10	箱	→→	
②	受託調査報告書刊行数	0	0	0	件	→→		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成30年度は、宮本遺跡の遺物の接合・復元・図面デジタル化作業を実施した。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,718,975	4,059,425	3,624,206				
事業費(b)(円)		1,700,516	1,700,790	1,665,937				
うち一般財源		1,700,516	1,700,790	1,665,937				
職員給与費(c)(円)		3,018,459	2,358,635	1,958,269				
人役・職員(人)		0.20	0.10	0.05				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)		1.96	2.01	1.94				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	受託した遺跡発掘調査報告書を効率的に適正に刊行できるように、事業計画を見直す。	③取組における課題(Check)	予算確保がかなわなかったため、発掘調査の整理・報告書刊行事業の範囲内での刊行を検討する。
②H30に実施した取組(Do)	他の業務と重なり刊行できなかった。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	報告書刊行事業に専従する人員の確保・増員。刊行計画の見直し。